

No 4260543

事務事業評価票

所管部長等名	農林水産部長 垣下 昭博
所管課・係名	農林水産政策課 千丁農林水産地域事務所
課長名	小堀 千年

評価対象年度	平成26年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	千丁ふれあい農園管理運営事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	11
				事業コード(大-中-小)	04	—	11	—	39
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	4	豊かさにとぎわいのあるまち						
	施策の大綱(節)【政策】	1	豊かな農林水産業のまちづくり						
	施策の展開(項)【施策】	2	緑を育てる林業経営の安定						
	具体的な施策と内容	1	生産基盤の充実						
事務事業の目的	市民へ農作業体験を行うことができる場を提供し、自然とふれあうとともに農業に対する理解を深めてもらう。								
事務事業の概要 (全体事業の内容)	農園の運営・管理。 運営 ⇒ ①利用者募集 一般用 35㎡(34区画) ・ 身障者用7.8㎡(2区画) ②利用手続き事務 管理 ⇒ 空き区画と共用部分の除草作業等								
根拠法令、要綱等	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律								
実施手法 (該当欄を選択)	● 全部直営 その他(		一部委託		全部委託)		法令による実施義務 (該当欄を選択)	1 義務である ● 2 義務ではない	
事業期間	開始年度	合併前			終了年度		未定		

(Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業の内容

対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)
農地を保有しない市民	・広報やつしろ市HPにて利用者募集の広報 ・利用希望者の申請受付や貸出しの手続き
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)	
全区画を利用してもらい農業を体験してもらいたい。	

事業開始時点からこれまでの状況変化等

平成12年の開設以来、旧千丁町時代には空き区画があり、維持管理に時間を要したが、合併後は八代市全体へと募集を行っているため、空き区画も少なく、維持管理の省力化が図られている。

コスト推移				24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込	
事業費	総事業費 (単位:千円)			84	1,484	1,487	1,140	1,140	1,140	1,140	
	事業費(直接経費)	(単位:千円)			84	84	87	90	90	90	90
		財源内訳	国県支出金			0	0	0	0	0	0
			地方債			0	0	0	0	0	0
			その他特定財源(特別会計→繰入金)			84	84	87	90	90	90
			一般財源(特別会計→事業収入)			0	0	0	0	0	0
	人件費			24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見込	
	概算人件費(正規職員) (単位:千円)			-	1,400	1,400	1,050	1,050	1,050	1,050	
正規職員従事者数 (単位:人)			-	0.20	0.20	0.15	0.15	0.15	0.15		
臨時職員等従事者数 (単位:人)			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

事業の活動量・実績の数値化	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	利用者の募集広報	回	計画	-	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1	-	-	-
	②			計画	-					
				実績				-	-	-
	③			計画	-					
				実績				-	-	-
	〈記述欄〉※数値化できない場合									

別記様式（第5条関係）

もたらそうとする効果・ 成果指標 成果の数値化	指標名		指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	区画の利用率	区画の利用者が増えれば、農業を体験する人も増えるため	%	計画	-	97	100	97	97	97
					実績	97	97	100	-	-	-
	②	維持管理の時間	維持管理に費やす時間が少くなければ、ほかの事務に貢献できるから	時間	計画	-	24	20	20	16	16
					実績	24	24	20	-	-	-
	③				計画	-					
					実績				-	-	-
〈記述欄〉※数値化できない場合											

（Check）事務事業の自己評価											
着眼点				チェック		判断理由					
事業実施の妥当性	①	【計画上の位置付け】事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか		● 結びつく 一部結びつく 結びつかない		農業への理解が高まることや、耕作活動が広がることで耕作放棄地の解消の一助となる。					
	②	【市民ニーズ等の状況】市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか		● 薄れていない 少し薄れている 薄れている		食の安全への関心、中高年齢層の人口の増加など、自ら野菜などを栽培したいと考える市民は多い。					
	③	【市が関与する必要性】市が事業主体であることは妥当ですか（国・県・民間と競合していませんか）		● 妥当である あまり妥当でない 妥当でない		国・県・民間との競合はない。					
活動内容の有効性	①	【事業の達成状況】成果目標の達成状況は順調に推移していますか		● 順調である あまり順調ではない 順調ではない		空き区画が少なく、利用者の利用状況も良好である。					
	②	【事業内容の見直し】成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか（成果をこれ以上伸ばすことはできませんか）		● 見直しの余地はない 検討の余地あり 見直すべき		千丁においては1つの農園で妥当と考える。					
実施方法の効率性	①	【民間委託等】民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか		● できない 検討の余地あり 可能である		土地所有者＝民間（NPO法人等）＝農業体験者のようにNPO等が、土地所有者と農業体験希望者とをマッチングできる体制が構築できれば可能だと考える。					
	②	【他事業との統合・連携】目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか		● できない 検討の余地あり 可能である		類似・関連の事業が見当たらない。					
	③	【人件費の見直し】現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか		● できない 検討の余地あり 可能である		職員が、必要な時に応じて迅速に対応したほうが、コストはかからない。					
	④	【受益者負担の適正化】事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はありますか（引上げ・引下げ・新たな負担・廃止）		● 見直しの余地はない 検討の余地あり 見直しが必要である		借地料、使用料は検討の余地あり。					

別記様式（第5条関係）

(Action) 事務事業の方向性と改革改善															
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)		(今後の方向性の理由) 事務手続きは簡素化されているので、維持管理に係る部分についての改善を図る。											
		● 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)													
改革改善内容		今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果													
		利用料が直接経費を上回っているため、その部分で維持管理の手間が省けるよう通路等への防草シートを貼り、除草作業の効率化を図る。													
改革改善による期待成果															
		コスト													
		削減	維持	増加											
成果	向上														
	維持	●													
	低下														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">外部評価の実施</th> <th>無</th> <th>実施年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"> 改善進捗状況等 </td> <td>H26進捗状況</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26取組内容</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>					外部評価の実施		無	実施年度	改善進捗状況等	H26進捗状況			H26取組内容		
外部評価の実施		無	実施年度												
改善進捗状況等	H26進捗状況														
	H26取組内容														
決算審査特別委員会における意見等		特になし (委員からの意見等)													

No 4260542

事務事業評価票

所管部長等名	農林水産部長 垣下 昭博
所管課・係名	農林水産政策課 千丁農林水産地域事務所
課長名	小堀 千年

評価対象年度	平成26年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	農村公園管理事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	11
				事業コード(大-中-小)	04	—	11	—	38
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	4	豊かさにとぎわいのあるまち						
	施策の大綱(節)【政策】	1	豊かな農林水産業のまちづくり						
	施策の展開(項)【施策】	1	経営安定を目指した農業の振興						
	具体的な施策と内容	4	農村環境の整備						
事務事業の目的	地域住民の連帯感の醸成及び豊かな人間性を培うとともに、青少年及び児童の健全な育成に寄与するため、農業者等農村在住者の健康増進並びに憩いの場を提供する。								
事務事業の概要 (全体事業の内容)	千丁校区内の農村公園8箇所、総面積12,199㎡の維持管理事業 ・光熱水費(上・下水道料、電気料) ・修繕料(便所、遊具、街灯、その他) ・手数料(汲取り、浄化槽清掃、法定検査) ・委託料(浄化槽維持管理業務、公園管理業務)								
根拠法令、要綱等	八代市農村公園条例、八代市農村公園条例施行規則								
実施手法 (該当欄を選択)	全部直営 その他(	● 一部委託	全部委託	法令による実施義務 (該当欄を選択)	1 義務である ● 2 義務ではない				
事業期間	開始年度	平成17年度(合併後)			終了年度	未定			

(Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業の内容

対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)
農村地域に在住する子供からお年寄りまでの地域市民	公園内の整備された施設の維持管理 (施設の修繕及び水光熱費の支払い)
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)	
遊具やゲートボール場を利用することによって、地域市民の憩いの場を提供する。	

事業開始時点からこれまでの状況変化等

農村公園(8箇所)は、昭和62年から63年に整備されており、27年から28年が経過している。
したがって、施設の老朽化が進み、今後更なる予算の増加が見込まれる。

コスト推移			24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込
事業費	総事業費 (単位:千円)		807	3,108	3,025	4,834	2,353	2,384	2,384
	事業費(直接経費) (単位:千円)		807	1,008	1,625	4,134	1,653	1,684	1,684
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源(特別会計→繰入金)	0	19	0	0	0	0	0
		一般財源(特別会計→事業収入)	807	989	1,625	4,134	1,653	1,684	1,684
	人件費		24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見込
	概算人件費(正規職員) (単位:千円)		-	2,100	1,400	700	700	700	700
	正規職員従事者数 (単位:人)		-	0.30	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
臨時職員等従事者数 (単位:人)		-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

事業の活動量・実績の数値化	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	8地区農村公園の敷地内及びトイレの清掃等	回	計画	-	224	224	224	224	224
				実績	224	224	224	-	-	-
	②			計画	-					
				実績				-	-	-
	③			計画	-					
				実績				-	-	-
	〈記述欄〉※数値化できない場合									

別記様式（第5条関係）

もたらそうとする効果・ 成果指標 成果の数値化	指標名		指標設定の考え方		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	施設の修繕件数	地域からの要望が経過100%の満足度と捉えられる。	件	計画	-	7	4	8	8	8	
					実績	3	5	4	-	-	-	
	②				計画	-						
					実績				-	-	-	
	③				計画	-						
					実績				-	-	-	
〈記述欄〉※数値化できない場合												

（Check）事務事業の自己評価											
着眼点				チェック		判断理由					
事業実施の妥当性	①	【計画上の位置付け】事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか		● 結びつく 一部結びつく 結びつかない		市として地域市民に憩いの場を提供するのは当然である。					
	②	【市民ニーズ等の状況】市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか		● 薄れていない 少し薄れている 薄れている		少子化及びゲートボール人気低迷により、公園の利用が減少している。					
	③	【市が関与する必要性】市が事業主体であることは妥当ですか（国・県・民間と競合していませんか）		● 妥当である あまり妥当でない 妥当でない		公園施設は市の市有財産であるため、維持管理するのは当然である。					
活動内容の有効性	①	【事業の達成状況】成果目標の達成状況は順調に推移していますか		● 順調である あまり順調ではない 順調ではない		少子化と趣味の多様化により、利用者が減少している。					
	②	【事業内容の見直し】成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか（成果をこれ以上伸ばすことはできませんか）		● 見直しの余地はない 検討の余地あり 見直すべき		地域の愛護会等と協力しながら利活用を図る。					
実施方法の効率性	①	【民間委託等】民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか		● できない 検討の余地あり 可能である		H26年度から委託費を計上し、小額の修繕関係及び維持管理（草刈り・伐採等）を地域で行なう。					
	②	【他事業との統合・連携】目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか		● できない 検討の余地あり 可能である		地域性を配慮して設置した公園であり、地域と密着した利用が行なわれている。					
	③	【人件費の見直し】現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか		● できない 検討の余地あり 可能である		地域の愛護会に委託することによって、人件費を削減することは可能である。					
	④	【受益者負担の適正化】事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はありますか（引上げ・引下げ・新たな負担・廃止）		● 見直しの余地はない 検討の余地あり 見直しが必要である		受益者負担はない。					

(Action) 事務事業の方向性と改革改善											
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)			(今後の方向性の理由) H26年から地域の愛護会に草刈等を委託しているが、H27年度からは、その愛護会にこれまでの草刈り等に加え、公園の利用計画等も併せて委託する。						
		2 民間実施									
		● 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)									
		4 市による実施(要改善)									
		5 市による実施(現行どおり)									
		6 市による実施(規模拡充)									
改革改善内容		今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果									
		H26年度から地元愛護会に委託しており、市と地域市民が連携することによって、経費の節減及び利用者のマナー向上により、公園利用の活性化につながる。									
改革改善による期待成果											
		コスト			外部評価の実施			有 : 外部評価(市民事業仕分け)		実施年度	平成26年度
		削減	維持	増加	H26進捗状況		2. 一部対応				
成果	向上				改善進捗状況等	H26取組内容	地元の愛護会に草刈等を委託したことで、地域市民が植樹等の環境美化作業、草刈り及びトイレの清掃等を積極的に行ない、利用しやすい公園となりつつある。				
	維持										
	低下										
決算審査特別委員会における意見等					(委員からの意見等)						